

生物資源経済研究

No. 18

2013年

- Dose Incentive Really Matter for Forestry-management Incentive Programs?
An Evidence from NIPF Landowners' Re-enrollment Decisions to
a Joint Thinning Program in Ehime, Japan
..... Yohei Mitani, Naoyuki Izumi, and Kohei Suzuki (1)
- 京都府与謝野町の地域産業連関表の作成と地域振興計画の波及効果
..... 加賀爪 優 (15)
- 次世代を担う農企業戦略論研究の課題と展望
..... 小田 滋晃・長命 洋佑・川崎 訓昭・長谷 祐 (43)
- 環地中海における食料貿易と食料生産
— チュニジアを中心として — 末原 達郎・坂梨 健太 (61)
- キリマンジャロにおけるバナナの生産・販売の特質
— 「女性産物」が追求する家計安全保障 — 辻村 英之 (85)
- WTO 体制下の CAP 改革と EU 農業の変化 沈 金虎 (103)
- 出稼ぎが、医療費と子供の栄養状態におよぼす影響について
— CSES 2009 を用いた計量分析 — 福井 清一・ルチ リカナン (131)
- 京都梅ヶ畑の御入木山に関する一考察 田口 標・松下 幸司 (158)

京 都 大 学 大 学 院 農 学 研 究 科
生 物 資 源 経 済 学 専 攻

『生物資源経済研究』規定

1. 投稿資格・著作権・編集要領

- 1) 単著論文の投稿資格者は、生物資源経済学専攻（以下、専攻と略記）教員、本専攻在籍中ないし在籍後5年以内の内地研究員・外国人招聘学者・外国人共同研究者、および編集委員会で特に認めたものとする。なお、別途定める『生物資源経済研究』内規に基づき、本専攻の院生（およびこれと同等以上と認められる者）も、専攻会議の了承のもとに投稿できる。
- 2) 共著論文の第一執筆者は本専攻教員に限定するものとする。
- 3) 著作権：本誌に掲載された論文・抄録の著作権は、本専攻に属するものとする。なお執筆者自身が自らの論文を利用することは差し支えないものとする。
- 4) 原稿の採否の決定：原稿の採否は、複数査読にもとづき編集委員会が行うこととする。採用決定日をもって受理日とする。
- 5) 発行回数と別刷り：年1回発行を原則とする。別刷りは各原稿当たり50部まで無料で著者に贈呈し、それ以上は著者の実費負担とする。
- 6) 著者校正：著者校正は原則として2回行う。誤植以外の加筆・修正はできないこととする。

2. 執筆要領

- 1) 原稿種別は論文と研究ノートの2種とし、投稿者は投稿時に種別を明記する。
- 2) 原稿枚数は、図・表を含め、和文の場合は横書き400字詰め原稿用紙換算で50枚以内、英文の場合は、A4用紙にダブル・スペース（28行、1行10～15単語）で30枚以内を目安とする。和文の場合は英文抄録（300単語以内）と英文題名を、英文の場合は和文抄録（800字以内）と和文題名を投稿時に添付する。原稿は完成原稿とそのハード・コピー2部を、データ・ファイルを添付の上で、編集委員長ないし副委員長に提出するものとする。
- 3) 特殊な専門用語・学術用語のほかは、原則として新仮名遣い・常用漢字を使用する。
- 4) 論文の節項表示は、1. (1)、1)、a のようにする。
- 5) 単位は%、kg、haなどの略号を用い、数字は5億6,728万などと表す。
- 6) 図表は、図1、表1（Fig1. Table 1）のように示す。また図表の挿入位置については、完成原稿の右余白に朱書きで明示する。
- 7) 本文注記は各頁ごとではなく本文末尾に一括して掲載する。また引用文献は注記を原則とし下記の要領によるものとするが、各分野学会誌の様式に準じた表記も認める。
 - 1) 和文の場合
 - a. 著者名『書名』（シリーズ名）、出版社、出版年（奥付けによる）、ページ。
 - b. 執筆者名「論文名」、編著者名『書名』（シリーズ名）、出版社、出版年、ページ。
 - c. 執筆者名「論文名」、『雑誌名』巻号（年月）、ページ。
 - 2) 欧文の場合
 - a. 名頭文字・姓、書名（出版他：出版社、出版年）、p.（またはpp.）
 - b. 名頭文字・姓、「論文名」、雑誌名、巻号（月、年）、p.（またはpp.）

付 記

- (1) 本規定の改正は専攻会議の承認を得なければならない。
- (2) 本規定は平成7年9月14日より実施する。
- (3) 本改正は平成13年7月31日より実施する。
- (4) 本改正は平成17年2月1日より実施する。
- (5) 本改正は平成20年1月1日より実施する。

執筆者紹介 (掲載順)

三谷 羊平	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (森林林業政策学分野)
泉 尚行	農林中央金庫
鈴木 康平	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (森林林業政策学分野 M1)
加賀爪 優	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (地域環境経済学分野)
小田 滋晃	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農業情報会計学分野)
長命 洋佑	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座)
川崎 訓昭	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座)
長谷 祐	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農業情報会計学分野・D3)
末原 達郎	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農学原論分野)
坂梨 健太	日本学術振興会特別研究員 PD (同志社大学グローバルスタディーズ研究科)
辻村 英之	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農業組織経営学分野)
沈 金虎	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (地域環境経済学分野)
福井 清一	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (国際農村発展論学分野)
ルチ リカナン	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (国際農村発展論学分野)
田口 標	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 (農業組織経営学分野)
松下 幸司	京都大学農学研究科森林科学専攻 (森林・人間関係学分野)

『生物資源経済研究』第18号の編集を終えて

研究成果を、どのような形で公表していくかは、常に問われるところです。『生物資源経済研究』もそうした研究成果の発表の場のひとつですが、多分野にわたる研究が、互いに刺激しながら、新たな研究分野を開拓できるような場が提供できればと考えています。

本号では、8編の論文を掲載することができました。研究対象地域別では、日本を対象にしたものが4本、アフリカを対象にしたものが2本、EUを対象にしたものが1本、アジアを対象にしたものが1本でした。今後とも、生物資源研究の研究論文が多様な方法論や新たな方法論に基づくものであることを期待して、積極的な論文の投稿をお願いいたします。

平成25年3月1日

編集委員長 末原 達郎

『生物資源経済研究』第18号編集委員 (五十音順)

浅見淳之 足立芳宏 小田滋晃 北野慎一 (副委員長)
栗山浩一 末原達郎 (委員長) 沈 金虎 辻村英之

生物資源経済研究 第18号

2013年3月15日 印刷

2013年3月25日 発行

編集 京都大学大学院生物資源経済学専攻
生物資源経済研究 編集委員会

電話 075-753-6201

発行 京都大学大学院生物資源経済学専攻
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

印刷 創文堂印刷(株)

The Natural Resource Economics Review

 No. 18

2013

- Dose Incentive Really Matter for Forestry-management Incentive Programs?
 An Evidence from NIPF Landowners' Re-enrollment Decisions to
 a Joint Thinning Program in Ehime, Japan
 Yohei MITANI, Naoyuki IZUMI, and Kohei SUZUKI (1)
- An Analysis on the Economic Effects of Local Revitalization Program based
 on the Regional Input-Output Table of Yosano town in Kyoto Prefecture
 Masaru KAGATSUME (15)
- Topics and Future Outlook for Innovative Research of Farm Governance and Management
 Shigeaki ODA, Yosuke CHOMEI,
Noriaki KAWASAKI, Tasuku NAGATANI (43)
- Transformation of Tunisian Food Production and Food Trade
 Tatsuro SUEHARA, Kenta SAKANASHI (61)
- Characteristics of Banana Production and Sales in Kilimanjaro: Security of
 Household Economy Pursued by "Female Products"
 Hideyuki TSUJIMURA (85)
- The CAP Reforms and Changes of EU Agriculture under WTO System
 Jinhu SHEN (103)
- The Impacts of Migration on Health Expenditure and Child Nutrition
 —An Econometric Analysis using CSES 2009—
 Seiichi FUKUI, Likanan LUCH (131)
- An analysis of forest management of *Gonyubokuyama* in Umegahata, Kyoto, Japan
 Kozue TAGUCHI and Koji MATSUSHITA (158)